

令和元年度総務省行政事業レビュー公開プロセス 評価結果

「高度対話エージェント技術の研究開発・実証」

1. 評価結果 事業内容の一部改善

内訳：廃止	0名
事業全体の抜本的な改善	1名
<u>事業内容の一部改善</u>	<u>2名</u>
現状通り	3名

2. 取りまとめコメント

当該選択の理由・根拠及び事業の見直しの方向性など

1. 国民経済や国民生活の質の向上に向け、やさしい（分かりやすい）説明をすべき。
2. 最終的に提供すべきサービスや、その内容、ビジネスモデルを明らかにすべき。
3. 実用化のためには、人の感情などを含む広い意味での制度変更の観点をもつべき。
4. この事業のほかに、国が実施するこの分野での政策の全体像を明らかにすべき。
5. 高度人材確保のための給与水準については検討すべき。
6. 「オープン化」について疑問は残る。いずれにしても事業全体の状況をみて判断すべき。